

コメ品質改善で農家の収入向上へ 体系的なコメの水分管理システム構築を目指して

国際協力機構(JICA)は7月16日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社ケツト科学研究所(東京都大田区、江守 元彦代表取締役)が提案する「水分計測トレーサビリティシステムによるコメ監理体制構築に関する案件化調査」(ミャンマー国)を採択しました。

ミャンマーでは国民の約6割が農業に従事しているにも関わらず、農業部門がGDPに占める割合は約3割に過ぎません。その原因の一つに、不十分なコメの水分管理により精米時にコメの半数が砕けてしまい、商品価値が下がっている現状があります。

ケツト科学研究所は、卓越した水分管理システムのノウハウを有する水分計のパイオニア企業で、同社が所有する高精度小型穀物水分計は計測精度の高さが特徴です。



米麦水分計ライスタ f512

米麦水分計 PM-450 (Ver.4514)

本案件化調査では、科学技術省・科学技術研究局など現地関係者へのヒアリング、農業・精米工場・コメ取引所等の視察を行い、ミャンマーにおけるコメ水分管理のニーズを把握し、体系的な水分管理システムを構築することでコメの品質向上を目指します。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2014年度補正予算分並びに2015年度第1回分は本年3月に公示を行いました。94件の応募のうち32件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2014年度補正予算/2015年度第1回公示の採択結果について

URL : http://www.jica.go.jp/press/2015/20150716_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 橋本(案件担当)、野村(広報担当)

TEL 03-5226-9283 e-mail : pdtfs@jica.go.jp